

かぎ「」のつかいかた

名まえ（

ことば

E-1

つぎの文しようが、正しい書きかたになるように、の中に、点（・）やかぎ（「」）丸（○）をつけましょう。

① 今日かぞくみんなで小田原城おだわらしやうにいきましたおとう
ととにんじやたいけんをしましたおとうとが
おにいちやんの にんじやふく かつこいいね。
といったのでぼくはとてもうれしくなりました

② ただいま。

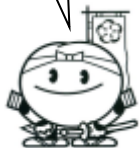
おとうさんの声こえがきこえました

おみやげにいろいろを買かってきたよ。

え、いろいろってなんだろう。

わたしは小田原おだわらみやげのいろいろをたべながらおとう
さんにおしえてもらいました

はなしたことは（会話）かいわには、かぎ（「」）をつけ、行ぎょうを
かえて書かくんだよ。



「うぐ」きをあらわすことば」をくみあわせましょう。

(例) のむ＋ほす＝

の
み
ほ
す

① きる＋おとす＝

② もつ＋上げる＝

③ おる＋たたむ＝

④ 立てる＋かける＝

⑤ とぶ＋まわる＝

⑥ 立つ＋あるく＝

⑦ うたう＋はじめる＝

⑧ わらう＋ころがる＝

⑨ なく＋さけぶ＝

つぎの絵をみて、「なにが」「どうする」の文を作りましょう。

なにが

どうする

例



とり
が

と
ぶ

なにが

どうする

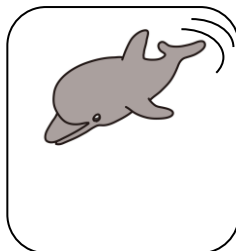


が

。

なにが

どうする



が

。

なにが

どうする



が

。

なにが

にあたることばは

しゅづ

どうする

にあたることばは

じゅづ

といいます。



しゅづ・じゅづ ②

名まえ

ことば

E-4

なには

(なにが)

にあたることは

しゅづ

どんなだ

(どうする) にあたることは

じゅづ

というよ。



うめまるくん

つぎの文をよみ、しゅづには――じゅづには――をひきましよう

(例) ひまわりの 花は きいろい。

おだわら

① 小田原の かまぼこは おいしい。

② 夏の ちようちんまつりは たのしい。

③ うめまるくんの かおは まるい。

さかわがわ

④ 酒匂川の 花火大会は すばらしい。

⑤ めだかの 学校は にぎやかだ。

ぜんこく

⑥ きんじろうさんは 全国でも ゆうめいだ。

ものをさししめすことば

名まえ

ことば

E-5

一 次の□にあてはまる「ものをさししめすことば」を□からえらんで書きましよう。

① ぼくのつくえの上にある□ えんぴつはだれのものだろう。

② まどの外に見える□ 大きなたてものは、小田原城だ。
おだわらじょう

③ たくさんのくつがあるけど、□ くつが、あなたのものですか。

④ あなたがもっている、□ ふではことと同じものをもっています
おな

あ の この その どの

二 つぎのようなときに使われる、ものをさししめすことばはどれですか。線でつながましよう。
せん

① 「あれ」「あの」・
じぶんにかかいもの

② 「これ」「この」・
あいてにかかいもの

③ 「どれ」「どの」・
じぶんやあいてからはなれているもの

④ 「それ」「その」・
はっきりしないとき

「この花」「その花」「あの花」
じぶんのちかくにある花は「どの花」かな？



点（ゝ）のつかいかた

名まえ（

ことば

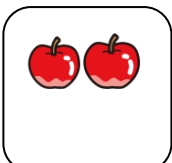
E-6

つぎの絵に合うように、点（ゝ）を一つずつつけて書きなおしましょう。

①ここではきものをぬぐ。



②このふたつかいます。



③ぼくはいしやになりたい。



④うらにはたけがある。

